

【様式 01】 高大連携公開授業シラバス

* 科目 No.	40104
----------	-------

1. 開設大学	福山大学 経済学部	開講場所 (キャンパス・施設)	本学
2. 科目名	備後経済研究 I		
	学問分野	番 号	名 称
3. 担当教員	張 楓 経済学部 税務会計学科	24	商学・経営
4. 開講学期	前期 週 1 コマ		
5. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 28 年 4 月 12 日 (火) ~ 平成 28 年 7 月 26 日 (火) 祝日を除く火曜日 16 時 20 分 ~ 17 時 50 分		
個別開講日	1 回目 4/12	2 回目 4/19	3 回目 4/26
	7 回目 5/31	8 回目 6/7	9 回目 6/14
	13 回目 7/12	14 回目 7/19	15 回目 7/26
6. 募集定員	50 人 (総授業定員 100 人)		
7. 科目内容・ 授業計画	<p>本講義では、「ものづくりの玉手箱」とも称賛されている備後地域 (福山市・府中市・尾道市・三原市) の産業集積地としての産業発展過程・メカニズム及び問題点、今後の可能性について大都市圏域や代表的な地方工業地域 (長岡、諏訪、浜松、広島など) との比較を視野に探ることを目的とします。具体的には繊維産業や木工産業など伝統産業から、造船業や産業機械産業、工作機械産業、さらに半導体搬送装置 (ロボット) 産業など近代産業を取り上げていきますが、前期では、戦前・戦後における備後地域経済の産業構造の特色を提示したうえで、機械工業を中心とする近代産業について、地元のオンリーワン・ナンバーワン企業の事業展開を交えながら、詳細に考察していきます。</p> <p>授業内容は以下の通りです。</p> <p>1. オリエンテーション 2. 戦前・戦後備後地域の産業構造 3. 近現代日本機械工業集積と備後地域 4. 主要地方工業集積地帯と備後地域の比較 5. 戦前期の備後地域機械工業集積の形成①創業 6. 戦前期備後地域機械工業集積の形成②形成条件 7. 戦後の備後地域機械工業集積の成長①創業 8. 戦後の備後地域機械工業集積の形成②成長条件 I 9. 戦後の備後地域機械工業集積の形成②成長条件 II 10. 戦後の備後地域機械工業集積の形成②成長条件 III 11. ケース・スタディ①木工機械 12. ケース・スタディ②工作機械 13. ケース・スタディ③半導体関係 14. ケース・スタディ④鉄鋼 15. 総括</p>		
8. 受講料	無料		
9. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
10. 学習記録	交付する		交付しない
11. 科目等履修生	受け入れる		
	単位数	単位	
	受入学年	高校 年生以上 (二次募集時 年生)	
	試験・評価		
	特記事項		
12. 開講条件※1 あり、 <u>ない</u>	① 最少開講人数 (人) ② 不開講通知日 (7月15日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月16日(土)以降の開講科目は6月末まで)		
13. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 日頃常にインターネットや新聞で備後地域の企業経営の動向をチェックすること、また事前に配布された資料を読んでおくこと。4月12日の集合場所： 1号館2階経済学部事務室		
14. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。